



介護福祉学校 選挙啓発出前講座

新たな有権者となる学生に選挙の仕組みや投票参加の意義などを理解してもらおうと4月28日、北海道介護福祉学校で「選挙啓発出前講座」が開かれました。ここでは、講座の様子を紹介します。

模擬投票
続いて、「被選挙権の引き下げ」を争点に4人が立候補したことを想定した模擬選挙を実施。
選挙公報の配布や実際の投票用紙、記載台、投票箱を使い、受付や名簿照合などの事務作業、町選挙管理委員が投票管理者・立会人として投票に立ち会うなど、実際の選挙と同じ流れで進められました。

出前講座について
選挙啓発出前講座は、町選挙管理委員会的主催で行われ、当日は介護福祉学校生66人が参加しました。
始めに、「選挙の種類」「選挙権と被選挙権」「選挙運動」「投票率の状況」「投票参加の意義」「投票の方法」といった選挙の基礎的な内容の講義を行いました。
なぜ投票に行かないのか、なぜ投票にいくことが大切なのかなど、具体的な説明を聞いている学生の様子は真剣そのものでした。

講座を終えて
講座を終えた学生からは、「緊張した」「とてもわかりやすく勉強になった」「本番の選挙も行ってみたい」「選挙についてしっかり考えていきたい」「住民のことをしっかり考えてくれる人に投票したい」など、さまざまな声が聞かれました。
今回の出前講座は、選挙権の大切さや、選挙を身近に感じてもらう良い機会になりました。



投票が終わると開票作業へ。学生が票をまとめて得票計算機で得票を計算。開票結果を村上哲選挙管理委員長に手渡し結果を発表しました。
初めての取り組みでしたが、町選挙管理委員会職員のサポートもあり、スムーズに模擬選挙を終了しました。

選挙権年齢が18歳以上に引き下げられます！

「選挙」を通して 一人ひとりの思いを 託しませんか



皆さんもご存じのとおり、今年夏の参議院議員選挙から選挙で投票できる年齢が「20歳以上」から「18歳以上」に引き下げられます。
選挙はすごく遠い物事のように思われている方もいるようですが、生活に大きく関係しています。そして、自分たちの意思を政治に反映させる重要な機会です。
「選挙」を通して、一人ひとりの思いを託しませんか。

選挙権には歴史がある

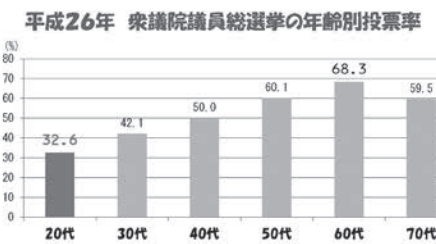
現在では当たり前のようにある選挙権。しかし、かつてはごく一部のみにしかその権利が与えられていませんでした。

明治23年に日本で初めて行われた衆議院議員選挙では、25歳以上で直接国税を15円以上納めている人に限られていました。男女平等に選挙権を手にし、現在のような普通選挙が実現したのは、昭和20年のことです。

私たちに与えられた一票は、先人の努力によって勝ち得たものです。選挙権とはそれだけの重みがあるということなのです。

若い世代の投票率が低いとさまざまな影響が・・・

近年、国政選挙、地方選挙とも投票率の低下が問題になっており、特に若い世代の投票率は、いずれの選挙も他の世代に比べて低く、その差が拡大してきています。
若い世代の投票率が低いと、若者の声は政治に届きにくくなり、その結果、若者に向けた政策が実現しにくくなったり、実現するのに時間を要する可能性があります。



投票に行った20代の人たちは、およそ3人に1人!!

一票を投じる意味

若い世代の投票率が1%下がると、若者は1人当たり年間13万5000円損をしているとの試算が出ていることをご存知ですか。東北大学大学院経済学研究科の吉田浩教授と経済学部加齢経済セミナー所属の学生らが分析したのですが、この研究報告では「これは、若い世代が『政治に参加しなかったことによるペナルティー』である。若い世代は、このような政治不参

用事があって当日投票に行けない・・・

投票日当日以外でも投票できます。

期日前投票

仕事やレジャーなどで投票日に投票ができない場合、選挙の公示日（告示日）の翌日から投票日の前日まで、期日前投票所で投票することができます。

不在者投票

出張などで投票日まで他の市区町村に滞在する場合、所定の手続きを行えば、投票日以前に投票するか、登録されている投票区の区域外で投票できます。

加のコストを認識して、世代の声が財政政策に反映されるように投票に参加する行動を起こすことや、国政選挙における若い世代の候補者の比率が高まることも期待される」とまとめられています。
選挙は「めんどくさい」と感じているかもしれませんが、若い世代の投票率が上がれば、若者のための政策も行われることになります。
明るい未来のために、ぜひあなたの与えられた一票を投じてください。

体験者インタビュー



せきや ふま
関谷 風磨さん

選挙は堅苦しく難しいことだと思っていましたが、思ったよりも簡単にできることがわかりました。介護福祉士の処遇や職場環境が良くなるとよいと思います。



こいけ りほ
小池 里歩さん

このような講座を受けられる機会があれば選挙を身近に感じることができると思います。政治の話は難しいので、政治家はわかりやすく説明してほしいです。



きし ふみか
岸 郁香さん

受講前は、「選挙って難しい」イメージが強く不安がありました。けれど、受講後は、一票の大切さや選挙権の重要性が理解できて良かったです。



栗山町選挙管理委員会
村上 哲委員長

■主催者インタビュー
与えられた権利を無駄にしないで

公職選挙法の改正で、70年ぶりに選挙で投票できる年齢が20歳から18歳に引き下げられ、7月に予定されている参議院議員選挙から導入されます。若い皆さんにはぜひ、選挙の意義や重要性の理解を深めていただきたいと思います。「どうせ投票したって何も変わらない」とあきらめてしまっている人が多いように感じますが、一人ひとりの一票に大きな意味があり、皆さんの一票で社会は変わります。与えられた権利を無駄にしないで投票してください。